

事業計画書

■当初 □最終

作成年月日	令和2年 11月 15日
法人名	合同会社おかさき
代表者職名前	岡崎 翔太
担当者名	岡崎 翔太 連絡先

1 協議事項

協議の種類	計画の概要	本計画書に記載が必要な項目														
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
協働の種類	■新規事業所の開設 (事業所の移転) (大規模な事業内容変更)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□事業の追加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□定員の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□建物の構造・設備の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

2 事業実施に係る動機

学校や家で子どもたちを指導してきた中で、学習に困難を抱える子どもたちに携わる機会が少なくなかった。彼らの中には発達に課題を持っていることがあり、それぞれの特性に応じた細やかな支援の必要性を感じるようになった。また放課後等デイサービスでの勤務時において、学期間だけではなく長期的な支援の視点に立ち、就労時の不安解決のための“働く力”を育むことに注目するようになり、就労準備性を高める支援もできる事業所の必要性を感じるようになった。

3 提供サービス

種別	①放課後等デイサービス	割合	100%	提供日	
理念	年齢期には学習支援を中心とし、長期的には将来の見通しを持った就労準備性を高める活動を提供します。また、利用者が社会に主体的に関わり、自分らしく生活を続けていくことができるよう支援をする。				
目標	学習支援や就労を見据えた活動プログラムにより、利用者が自立した社会生活を送れるようにサポートをする。利用者や保護者にとって心の拠りどころになるような地域に浸透した事業所になる。				
同種のサービス	なし				

4 施設の概要[平面図は裏面のとおり]

施設概要	所在地	多治米町5丁目14番9号		用途区域	第一種住居地域	意見				
	所有者	所有物件		抵当権	あり	今回計画している放課後等デイサービスの事業者は、建築基準法上の用途「児童福祉施設等」に該当します。変更する部分の床面積が200㎡以下のため、建築基準法上の手続きは不要であるが、手続きが必要な場合であっても、建築士等に相談し、建築基準法に適合した計画とすること。				
	名称	所有物件		構造	鉄骨造陸屋根式陸建					
	用途	放課後等デイサービス		築年	昭和51年					
階層	2	地上	2階	地下	なし		延面積	139.31	㎡	
事業概要	種別	放課後等デイサービス		手続	使用する階	2階	専有面積	42	㎡	
	取容人員	14	人	内訳	職員	4	人	利用者	10	人
	種別	放課後等デイサービス		手続	使用する階	2階	専有面積		㎡	
	取容人員		人	内訳	職員		人	利用者		人
内容	申請種別	□新築 □増築 □用途変更 ■その他								
	所有物件により放課後等デイサービス事業を行う。									

5 主要取引先

上段:取引先 下段:所在地	割合	換取引	回収・支払の条件		意見
			日	日回収	
	%	%	日	日回収	
	%	%	日	日回収	
	%	%	日	日回収	

6 従業員

職種	雇用形態	名前	年齢	月給	意見	
管理者	常	同上	65	11.3万円	月給が4週ベースでの試算で作成されているため、月単位で額を記載すること	
児童発達支援管理責任者	常					
児童指導員	常		63	11.3万円		
児童指導員	常		36	5.6万円		
児童指導員	常		33	11.3万円		
指導員	常	A	63	万円		
	常	B	32	万円		
人件費	20日	末日	支払	ボーナス	月	月

様式第2号-1

受理	11月27日
関係者の意見	市 建築指導課 消防局 予防課
回答	3月5日

7 借入金の状況

金融機関	理由	借入残高	年間返済額	意見
		万円	万円	
		万円	万円	
		万円	万円	

8 必要な資金と調達方法

必要な資金	金額	調達方法	金額	意見	
土地	万円	補助金	万円	職員の人材育成や資金向上を図るため、運転資金の増額等について検討すること。	
建物	万円	自己資金	200		万円
設備	万円	借入金			万円
車両	万円				
その他	万円				
運転資金	200	万円			
合計	200	万円	合計	200	万円

9 事業の見通し

	1月目	2月目	3月目	1年後	意見
延べ利用者見込数	72 人	96 人	120 人	240 人	
平均利用額/日 (事業所) ※1	1.92 万円	2.50 万円	3.2 万円	6.41 万円	
収入					
給付費 ※2	0 万円	0 万円	46.2 万円	153.9 万円	
収入その他	0 万円	0 万円	46.2 万円	153.9 万円	
収入計 ①	0 万円	0 万円	46.2 万円	153.9 万円	
支出					
人件費	39.4 万円	39.4 万円	39.4 万円	39.4 万円	
旅費・交通費	万円	万円	万円	万円	
賃借料	万円	万円	万円	万円	
通信費	0.7 万円	0.7 万円	0.7 万円	0.7 万円	
諸経費 ※4	8.7 万円	8.7 万円	8.7 万円	8.7 万円	
支払完全利息	万円	万円	万円	万円	
支出計 ②	48.8 万円	48.8 万円	48.8 万円	48.8 万円	
収支 ①-②	△ 48.8 万円	△ 48.8 万円	△ 2.6 万円	105 万円	
収入 B	万円	万円	万円	万円	
売上高 ※3	万円	万円	万円	万円	
支出 C	万円	万円	万円	万円	
利用者資金	万円	万円	万円	万円	
必要経費	万円	万円	万円	万円	
最賃確保状況(A型) (((B-C)/25)/8)/A	万円	万円	万円	万円	

※1 月平均利用額(1人当たり)の積算根拠

平日の利用額:6120円(平日区分2-1)+90円(平日の児童指導員配置加算)=6210円、休日の利用額:7300円(休日区分2-2)+120円(休日の児童指導員配置加算)=7420円
平日と休日の平均利用額:(6210円×5日+7420円×1日)÷6日=6411円

※1 計算根拠:3人/日×6411円/人=19,233円 以降は1日の利用者数が月ごとに1ずつ増えていく(計算例:5月 4人/日×6411円/人)=25,644円)

※2 給付費は、サービス提供月の翌々月に振り込まれるので留意すること(例:4月サービス提供→5月請求→6月振込)

※3 主な受注作業取引先

上段:受注先	1月当たりの受注額	契約書の有無	回収・支払いの条件
下段:所在地	万円	あり □ なし	

※4 主な事業所内生産品

生産品	1時間単価	計算式	1月当たりの生産額
	円 ×	H ×	日 × 人 = 万円
	円 ×	H ×	日 × 人 = 万円

※4 諸経費:消耗品、光熱水費、車両管理費、研修費、宣伝広告費、租税公課、社会保険料、レンタル料等

10 付近図

小学校区 多治米	人口 7085 人	事業所数 0	事業所 0 人	意見
付近図掲載せず		凡例 ○ … 事業所 × … 同種の事業所 △ … 一次避難先 □ … 二次避難先		
		一次避難先…多治米小学校 二次避難先…多治米公民館		

11 平面図

※平面図のデータを貼付

1階

2階

意見

個別支援であり一度に10名の利用はないのであろうが、複数コマ利用可能であることを踏まえ、指導訓練室の広さについての考えを記載すること。

利用者の特性に応じた場所とするため、1階が望ましい。利用者の特性に応じた配慮についての考えを記載すること。

12 事業計画

施設名: メリーピースアカデミー	所在地: 多治米町5丁目14番9号	意見
事業種別: 放課後等デイサービス	定員: 10名	
開設予定: 令和3年4月	併設事業: なし	
併設事業: なし	併設事業: なし	
併設事業: なし	併設事業: なし	
併設事業: なし	併設事業: なし	
主な対象地域: 多治米町、川口町、東川口町、沖野上町、草戸町、新浜町、曙町		
営業日: 月曜日から土曜日	休日: 日曜日、国民の祝日、年末年始、お盆	
提供時間: 登校日:15時から19時00分まで	学校休日:13時00分から19時00分まで	

13 利用者処遇

別紙1参照	意見
	必要に応じて計画的に職員採用を進めることを検討されているのであれば、今後の採用について、計画に反映すること。 感染症対策について「他者との近距離の接触は避ける。」とあるが、児童通所支援においては困難であると思われるため、他の対策についても検討すること。 事業所において行う支援内容について具体を記載すること。 支援の中で時間割を設けているが、コマの設定時間や関連性について記載すること。 人員数(年目)が低く設定されており、人材が育ちにくい状況と思われるため、人材育成についての考えを改めて示すこと。

14 防災計画

○避難場所 一次避難先…多治米小学校、二次避難先…多治米公民館 ○避難方法 指導員が安全確認をしながら、徒歩にて誘導し、避難。 ○緊急連絡網を作成 ○緊急持ち出し品、備蓄品(食料、飲料水)の準備 ○避難先への経路確認 ○避難訓練の実施	意見

15 一日の流れ

平日	意見
13時30分 ~ 15時00分	事務作業、支援準備
15時00分 ~ 19時00分	サービス提供
19時00分 ~ 19時30分	事務作業、片付け
土曜日、長期休暇	
10時30分 ~ 13時00分	事務作業、支援準備
13時00分 ~ 19時00分	サービス提供
19時00分 ~ 19時30分	事務作業、片付け
時 分 ~ 時 分	

事業計画書

□当初 ■最終

作成年月日	令和3年 3月 23日
法人名	合同会社おさき
代表者職名前	岡崎 翔太
担当者名	岡崎 翔太 連絡先

様式第2号-2

1 協議事項

協議の種類	計画の概要	本計画書に記載が必要な項目														
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
協議の種類	■新規事業所の開設 (事業所の移転) (大規模な事業内容変更)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□共生型サービス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	■共生型サービス以外	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□事業の追加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
協議の種類	□定員の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□施設の整備を伴う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□施設の整備を伴わない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□建物の構造・設備の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

2 事業実施に係る動機

学校や塾で子どもたちを指導してきた中で、学習に困難を抱える子どもたちに携わる機会が少なくなりました。彼らの中には発達に課題を持っていることがあり、それぞれの特性に応じた細やかな支援の必要性を感じるようになった。また放課後等デイサービスでの勤務時において、学期間だけではなく長期的な支援の視点に立ち、就労時の不安解決のための“働く力”を育むことに注力するようになり、就労準備性を高める支援もできる事業所の必要性を感じるようになった。

3 提供サービス

種別	①放課後等デイサービス	割合	100%	提供日	
	②	割合	%		■
	③	割合	%		月火水木金土日
理念	学習期には学習支援を中心とし、長期的には将来の見通しを持った就労準備性を高める活動を提供する。また、利用者が「社会に主体的に関わり、自分らしく生活を続けていくことができるよう」に支援をする。				
目標	学習支援や就労を見据えた活動プログラムにより、利用者が自立した社会生活を送れるようにサポートをする。利用者や保護者にとって心の拠りどころになるような地域に浸透した事業所になる。				
同種のサービス	なし				

4 施設の概要【平面図は裏面のとおり】

施設の概要	土地	所在地	多治米町5丁目14番9号		用途区域	第一種住居地域		主な修正点		
		所有者	所有物件		抵当権	あり		建築基準法に適合した計画にします。		
		名称								
		所有者	所有物件		抵当権	あり				
建物の概要		用途	放課後等デイサービス		構造	鉄骨造陸屋根瓦葺			消防局予防課の指導に従い、防煙灯を設置します。消火器の設置についても、併せて確認します。	
		階層	2	地上 2階 地下	階	2階				
		建築面積	79.8		m ²	延面積	139.31	m ²		
	事業の概要		種別	放課後等デイサービス						
		①	手続	使用する階	2階	専有面積	42m ² +10m ² (1階)	m ²		
			収容人員	14	人	内訳	職員 4 人	利用者 10 人		
		②	手続	使用する階	階	専有面積		m ²		
			収容人員		人	内訳	職員	人	利用者	人
	③	手続	使用する階	階	専有面積		m ²			
			収容人員		人	内訳	職員	人	利用者	人
内容	申請種別 <input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 用途変更 <input type="checkbox"/> その他									
	所有物件により放課後等デイサービス事業を行う。									

5 主要取引先

上段:取引先	下段:所在地	割合	掛取引	回収・支払の条件	主な修正点
		%	%	日 〆	日回収
		%	%	日 〆	日回収
		%	%	日 〆	日回収

6 従業員

職種	雇用形態	名前	年齢	月給	主な修正点
管理者	■常	同上	65	12.32 万円	月給を月単位の額で記載しました。(収支予算書も併せて修正)
児童発達支援管理責任者	■常			万円	
児童指導員	■常 □非		63	12.32 万円	
児童指導員	□常 ■非		36	5.63 万円	
児童指導員	□常 □非		33	12.32 万円	
児童指導員	□常 ■非		63	万円	
	□常 □非			万円	
	□常 □非			万円	
人件費	20日 〆	末日 支払	ボーナス	月	月

2021.3.23受付

7 借入金の状況

金融機関	理由	借入残高	年間返済額	主な修正点
		万円	万円	
		万円	万円	
		万円	万円	

8 必要な資金と調達方法

必要な資金	金額	調達方法	金額	主な修正点
土地	万円	補助金	万円	人件育成や資金向上を図るため、運転資金を増額するよう、今後、調達を進めていきます。
設備	万円	自己資金	200 万円	
設備	万円	借入金	万円	
車庫	万円			
その他	万円			
運転資金	200 万円			
合計	200 万円	合計	200 万円	

9 事業の見通し

	1月目	2月目	3月目	1年後	主な修正点
延べ利用者見込数	52 人	78 人	104 人	208 人	
平均利用額/日 (事業所) ※1	1.28 万円	1.92 万円	2.56 万円	5.12 万円	
収入					
給付費 ※2	0 万円	0 万円	33.3 万円	133.3 万円	
入その他	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	
収入計 ①	0 万円	0 万円	33.3 万円	133.3 万円	
支出					
人件費	42.6 万円	42.6 万円	42.6 万円	89.6 万円	
旅費・交通費	万円	万円	万円	万円	
賃借料	万円	万円	万円	万円	
通借費	0.7 万円	0.7 万円	0.7 万円	0.7 万円	
経費 ※4	9.3 万円	9.3 万円	9.3 万円	15.7 万円	
支払元金利息	万円	万円	万円	万円	
支出計 ②	52.6 万円	52.6 万円	52.6 万円	106 万円	
収支					
①-②	△ 52.6 万円	△ 52.6 万円	△ 19.3 万円	27.3 万円	
収入 B	万円	万円	万円	万円	
売上高 ※3	万円	万円	万円	万円	
支出 C	万円	万円	万円	万円	
利用者資金	万円	万円	万円	万円	
必要経費	万円	万円	万円	万円	
最悪確保状況(A型) (((B-C)/25)/8)/A	万円	万円	万円	万円	

※1 月平均利用額(1人当り)の積算根拠

平日の利用額:6120円(平日区分2-1)+90円(平日の児童指導員配置加算)=6210円、休日の利用額:7300円(休日区分2-2)+120円(休日の児童指導員配置加算)=7420円

平日と休日の平均利用額:(6210円×5日+7420円×1日)÷6日=6411円

※1 計算根拠:2人/日×6411円/人=12,822円 以降は1日の利用者数が月ごとに1ずつ増えていく計算(例:1月 3人/日×6411円/人=19,233円)

※2 給付費は、サービス提供月の翌々月に振り込まれるので留意すること(例:4月サービス提供→5月請求→6月振込)

※3 主な受注作業取引先

上段:受注先	下段:所在地	1月当たりの受注額	契約書の有無	回収・支払いの条件
		万円	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	

※3 主な事業所内生産品

生産品	1時間単価	計算式	1月当たりの生産額
	円 ×	H ×	日 × 人 = 万円
	円 ×	H ×	日 × 人 = 万円

※4 経費:消耗品、光熱水費、車両管理費、研修費、宣伝広告費、租税公課、社会保険料、レンタル料等

10 付近図

小学校区 多治米	人口 7085 人	事業所数 0	事業所 0 人	主な修正点
付近図掲載せず				
凡例 ○ … 事業所 × … 同種の事業所 △ … 一次避難先 □ … 二次避難先				
一次避難先…多治米小学校 二次避難先…多治米公民館				

12 事業計画

施設名: メリーピースアカデミー 所在地: 多治米町5丁目14番9号 事業種別: 放課後等デイサービス 定員: 10名 開設予定: 令和3年4月 併設事業: なし 送迎: なし 主な対象地域: 多治米町、川口町、東川口町、沖野上町、草戸町、新湊町、曙町 営業日: 月曜日から土曜日 休日: 日曜日、国民の祝日、年末年始、お盆 提供時間: 登校日:15時から19時00分まで 学校休日:13時00分から19時00分まで	主な修正点
---	-------

13 利用者処遇

別紙1	主な修正点 別紙1にて回答。 (職員採用に係る計画については、取次予算書も併せて修正)
-----	---

11 平面図

※平面図のデータを貼付

主な修正点 支援内容が運動や集団療育ではなく、学習支援をはじめとした個別療育が中心であり、そのための必要な広さは確保できていると考えています。 事業所を2階に位置づける計画ですが、身体障がい児等、2階での支援が困難な場合については、場合によっては1階を利用する等、利用者の特性に応じた支援がおこなえるよう、可能な限り配慮いたします。
--

14 防災計画

○避難場所 一次避難先…多治米小学校、二次避難先…多治米公民館 ○避難方法 指導員が安全確認をしながら、徒歩にて誘導し、避難。 ○緊急連絡網を作成 ○緊急持ち出し品、備蓄品(食料、飲料水)の準備 ○避難先への経路確認 ○避難訓練の実施	主な修正点
--	-------

15 一日の流れ

平日	主な修正点
13時30分 ~ 15時00分	事務作業、支援準備
15時00分 ~ 19時00分	サービス提供
19時00分 ~ 19時30分	事務作業、片付け
土曜日、長期休暇	
10時30分 ~ 13時00分	事務作業、支援準備
13時00分 ~ 19時00分	サービス提供
19時00分 ~ 19時30分	事務作業、片付け
時 分 ~ 時 分	